

西山工業で工場見学

天間小 ものづくりの魅力知る



天間小5年生51人はこのほど、社会科の授業の一環として、学区内にある西山工業で工場見学を行った。工場内の見学や講話を通して、冷温蒸気機器の開発製造やプレス板金加工、電子基板の製造などを展開する同社の事業内容に理解を深め、ものづくりの仕事の魅力に触れた。

児童たちは3グループに分かれ、社員の案内で▽部品加工工場▽電子部品加工・組立工場▽製品組立工場の一各コーナーを回った。製品組立工場では、ウォータークーラー冷水機)の組み立てや性能検査、梱包などの一貫した独自の生産ラインを間近で見学。社員が専用の機器を巧みに操り、徐々に製品の形にしていく様子に「すごいね」「早い!」など興味関心を深めていた。

地球温暖化といった社会課題の解決をテーマに製品の開発を試みていることなども伝えた。児童からの質問も受け付け、「ものづくりの仕事でうれしいことは?」との質問に対しては、「物を造ってお礼を言われた時」と回答。製品を利用する高齢者施設の職員や中学生から感謝の連絡を受けたエピソードを話した。併せて、見学の記念に、水筒やペットボトルに冷水を注げるウォータークーラーを寄贈アイスバンク式の冷却器を採用した新製品で従来のウォータークーラーの3倍となる500ミリ30杯分を連続注水できる。

代表の児童に目録を



手作業で電子基板の部品を取り付ける(上) プレス機で楽器の部品を作る様子を紹介(左)

手渡した宮崎専務は「タレット端末や教材など、持ち物が多く大変な中、空の水筒を持つてくるだけでも冷たい水が飲めるようになる。熱中症対策などにも役立ててほしい」と思いを語った。



ウォータークーラーの生産ラインを見学



自社製品の特長を紹介する宮崎専務



同社の冷水器の水を味わう児童